

2022年度 シラバス

芸術 科目(音楽Ⅱ)

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A～H組
教科書(出版社)	改訂版 高校生の音楽2(音楽之友社)	副教材(出版社) 等	改訂版 高校生の音楽1(音楽之友社)

1 学習の到達目標

- 音楽に対する興味・関心を深め、意欲的に音楽活動に取り組む態度を身に付けます。
- 音楽的な感性・技能を身に付け、音楽の生み出す曲想やリズムなどの美しさを感じ取りながら表現する能力を養います。
- 様々なジャンルの音楽文化について、その歴史的・文化的・地勢的な意味と価値を理解し、音楽を愛好する心情を育てます。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
1 学 期	4	オリエンテーション 鑑賞 物語と音楽 「アルプスの詩」 「幻想交響曲」	自己表現(自己紹介) 物語と音楽の関係 音色や速さの知覚	自己理解及び他己理解(コミュニケーション) 物語と音楽の融合性 演奏団体の違いによる音色・速さの知覚	関心・意欲・態度 授業観察 鑑賞の能力 鑑賞プリント
	5	器楽 トーンチャイム ミュージックベル	トーンチャイム合奏 ミュージックベル合奏	楽譜の分担作業・計画及び練習 班ごとの演奏を発表 生徒同士で取組評価	鑑賞の能力 生徒相互評価
	6	歌唱 合唱「翼をください」 「ホールニューワールド」 「美女と野獣」	息の循環 息つぎ 息の流し方 楽譜の読み方	発声の仕組み 発声練習の実践 腹式的呼吸の習得 息の循環習得 強弱のつけかた	表現の技能 表現の工夫 実技テスト
	7	鑑賞 日本の音楽 世界の音楽	雅楽、尺八音楽 雅楽の歴史理解 尺八音楽の鑑賞、西洋 の笛との比較	雅楽楽器(龍笛、篳篥)や尺八の音色、篠 笛の音色の違い 音楽の特徴を鑑賞	関心・意欲・態度 授業観察 鑑賞の能力 鑑賞プリント
2 学 期	9	器楽「リコーダー」	音量のバランス タンギング曲想の工夫	「小さな恋の歌」 様々なアーティキュレーションを技能として習得し、	関心・意欲・態度 授業観察
	10	歌唱 斉唱「花は咲く」「風 になりたい」「涙そう そう」	調号の理解 手話を伴う歌唱 歌詞の理解と表現	混声三部合唱のハーモニー体験 調号の多い曲の正確な音程習得	表現の工夫 表現の技能 実技テスト
	11	合唱「大切なもの」 合唱「世界に一つだけ の花」	手話鑑賞 手話を伴う歌唱 歌詞の理解と表現	歌詞を理解し簡単な手話を入れて合唱 手話と合唱が結ぶ自分の思いをまとめる	表現の工夫 表現の技能 実技テスト 鑑賞の能力 鑑賞プリント 鑑賞提出物
	12	創作「オノマトペ」	言葉、リズム、強弱を伴 った創作	4、5人グループで日常生活中からテーマを持ち、環境 音から曲を作る	関心・意欲・態度 授業観察 表現の工夫 表現の技能 発表

3 学 期	1	歌唱 合唱「おお、シャンゼリゼ」「Memory」「何度でも」	16ビート・スイング 詩の理解、 DREAMS COME TRUEの概要 合唱におけるハーモニー	16ビート・スイング習得・体得 詩の理解、DREAMS COME TRUE概要 正確な音程の習得、ハーモニー作り	表現の工夫 表現の技能 実技テスト
	2 3	器楽 ギター ※ 指定曲から一つ	コードの習得 ストローク奏法の習得 弾き語り	コードの仕組み セーハ用いたコード練習 弾き語り テンポを徐々に上げていき弾き語りしやすい速さを見つけ試験	関心・意欲・態度 練習の取り組み 表現の工夫 表現の技能 実技テスト 鑑賞の能力 生徒相互評価

3 評価の観点

音楽への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 演奏することに喜びを感じ幅広いジャンルの曲に対して興味関心を高めているか。 意欲的に楽曲演奏に取り組むとともに、鑑賞教材の視聴等における集中力の維持、アンサンブル授業における友人との協調性と積極性等の観点において的確に行動できているか。
音楽表現の創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲やそのジャンルの特質を良く知覚した上でその曲想を感じ取って、表現の工夫をしているか。 演奏上の課題に直面したときに的確な解決方法を見いだす工夫があるか。
音楽表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形成している要素を理解し、楽曲から感じ取ったイメージを創造的に表現する技能を身に付けているか。 楽譜に示された記号や標語の意味を把握し、それらが示している曲想を感じ取って表現する技能を身に付けているか。 自己のイメージを持つと共に、即興的表現をする技能を身に付けているか。
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞教材の演奏法、楽器の特徴、構造を理解し聴き取っているか。 アンサンブルにおいて、多様なパートが相互に関連し合い、音楽の美しさを生み出していることを理解し、聴き取っているか。 音楽の文化的背景の理解。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> 演奏活動への参加の仕方や態度・実技テストの内容・プリント、課題の提出状況 鑑賞感想の内容・楽器・楽譜の管理状況・日頃の取り組み状況
--

5 担当者からのメッセージ(確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> 音楽のいろいろな表現方法を学習する授業です。授業の形は活動内容（歌唱・器楽・鑑賞・創作）に合わせて変わります。（集団演奏、個人演奏、グループ演奏、プリント学習等） 評価方法は各々の到達度を確認しながら、画一的なものにならないように工夫します。 音楽表現はその中に人と人を結びつけるメッセージが込められているものです。そのメッセージを伝えるためには演奏の実技練習・発表は大変重要な活動となります。また、メッセージを受け取る側としての力を伸ばし、より豊かな内容を聴き取ることもこの1年間の学習の上で大きな目標となります。独りよがりではなく、必ず他の人に聴いてもらって評価を受けるまでが自己の表現であり、作曲家（作詞を含め）と演奏者（音楽の再現）、そして鑑賞者（評価）が居て、初めて音楽活動になるわけです。そのため発表形式で行うことを基本にしたいと思います。
--